

- 生活支援 貝守り 協議体
- 買物支援 配達 その他
- 移動支援 居場所づくり

22 地域のヒーロー (祁答院町藺牟田地区 湯之元自治会)

薩摩川内市 高齢・介護福祉課

地域の概要



薩摩川内市祁答院町の藺牟田地区。藺牟田池を囲む山間。湯之元自治会は、人口は906人、世帯数は476世帯。高齢化率は50.2%、藺牟田地区の中でも一番高い。



取組のきっかけ

30年前に、青年、壮年部の男性の集まりがなかったので、まずは飲み会を月1回しよう！旅行に年1回行こう！と火曜日に集まりだしたのがきっかけ。その後、「火曜倶楽部」という名前を付けて活動を開始。集まりの中で、地域の困りごとが聞かれるようになり、ボランティア活動を始めました。

取組の目的

- 集いの場
- ボランティア活動
- 地域活性化
- 世代間交流



これまでの経緯

年・月	出来事
平成5年ごろ	青年部と壮年部（20代から50代）の集まりがなかったので、飲み会を月1回しよう！
	年に1回は旅行に行こう！
	火曜日に集まることより、「火曜倶楽部」と名付けて、集まるようになった。
	おそろいのジャケットを作った。
	毎月第3日曜日、足湯公園の清掃をするようになった。
	年末の年越しイベントのために、そばをつくることになった。
	土壌作りから行い、そばの種をまき、種から育てた。
	高齢者宅の草払いなどのボランティア活動を始めた。
	55歳が定年だったが、70歳まで引き上げた。（高齢化）そばつくりのコストを考え、一から育てることをやめた。
令和3年12月末	そばつくりを再開。帰省している人にも、そばをふるまう。

活動の概要

毎月第3日曜日 足湯公園の清掃
 毎月1回の定例会＆飲み会
 年1回の旅行
 年末に年越しそばのふるまい
 ボランティア活動（高齢者宅の草払い、ゴミを集める）
 敬老会での余興



取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

〔行政担当者としての役割〕

- つながり発表会での見える化、見せる化、共有していく
- SCと定期的な情報共有

〔SCとしての役割〕

- 既存のボランティア活動を発見し、意識化、見える化。見せる化し共有する
- 「火曜倶楽部」との活動を広報
- 「火曜倶楽部」の活動している方々の思いをつなげていく
- 住民との関係を築き

現時点での到達点（効果・課題など）

〔効果〕

- 男性の集いの場となり定期的に集まって活動している
- 時代に合わせて変化する柔軟性がある
- 定例会と飲み会があり楽しみができています
- 地域の声を拾い、活動につなげることができています

〔課題〕

- 活動メンバーの高齢化
- メンバーが減り続けている
- 活動の計画